

坐骨で座る健康イス

ayur-chair

アーユル・チェアー

「座る時間」もムダにしない健康チェアー

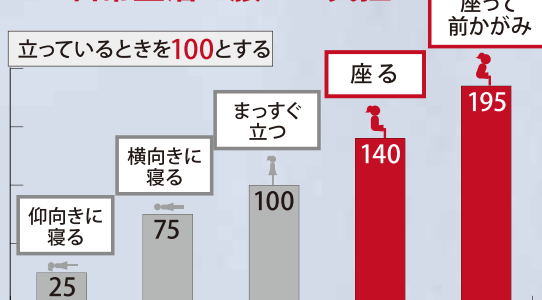
日本は世界有数の「腰痛大国」であり、4人に1人が腰に悩みを抱えている^(※1)。日本人は姿勢が悪いとよく言われるが、実は悪い姿勢でイスに座ると立っている時の約2倍もの負担が腰にかかる^(※右下図)。昔の日本人は畳の上で正座やあぐらで自然と「坐骨」で座っていたため、とても姿勢が良かったという。アーユル・チェアーに座ると、自然と骨盤が立つ「坐骨座り」となり、背骨が正しいS字を描く。これは腰痛対策に必要なインナーマッスルを自然と鍛えている状態。つまり、1日の多くの時間を占める「座る時間」をムダにすることなく、むしろ積極的にカラダをケアする時間として活用することができるのだ。



「坐骨」で座れる特許形状^(※2)

2005年特許取得。2つに割れた自転車のサドルのような小さな座面を「またいで」座ることで骨盤が立ち、「坐骨」で座る正しい姿勢に。背もたれならぬ「腰あて」が、痛む腰も心地よく支えてくれる。グッドデザイン賞、健康医療アワード受賞。多くの身体の専門家も推薦している。慶應義塾高校、成蹊大学の他、UHA味覚糖、DeNA、JINSなどの企業にも導入されている。

日常生活の腰への負担



※ナックメソン「姿勢の変化による椎間板内圧の変化」より

- ①プレミアムモデル 01 71,500円
- ②キャスタータイプ 52,800円
- ③スツールタイプ 31,900円
- ④座イス&座面シートタイプ 19,800円

ムービーはこちら



0120-972-725

アーユルチェアー

検索

※1 厚生労働省2013年発表

※2 特許3733369号。2つに割れ、後傾かつ山型の座面により着座者の背骨が自然と伸び姿勢よく座れる